

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡 郷甫
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ融出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習

- 會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)
 - 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
 - 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 - 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

拾	冊送	拾	冊送
貳	冊送	貳	冊送
年	金四	年	金四
金	貳拾	金	貳拾
拾	錢	拾	錢
錢	共	錢	共

廣告

特等面一頁二等面一頁
 金參拾圓 金貳拾圓
 一等面一頁一頁以下
 金拾圓 金五圓 御新
 神田區駿河臺ノ三品田
 廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
 昭和九年九月十五日印刷納本
 昭和九年九月十五日發行
 幼兒の教育 第三十四卷 第八・九號

不許複製 禁止轉載

編輯者 倉橋 惣三
 發行所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 柴山 則常
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 會社 杏林 舍

發行所

東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

注文規定

- 一、本誌(御注文の方は凡て前金(郵送料共)で願ひます。(郵券代用の場合はは總て一割増)
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合は前金參拾五錢發送を願ひます。

忽五版
 東京女高師教授 文學博士 下田次郎先生著
 四六版三八〇頁 定價二圓五十錢
 裝幀優美函入 送料十六錢
 東京女高師教授 文學博士 下田次郎先生著
 文檢教育科委員

魂の教育

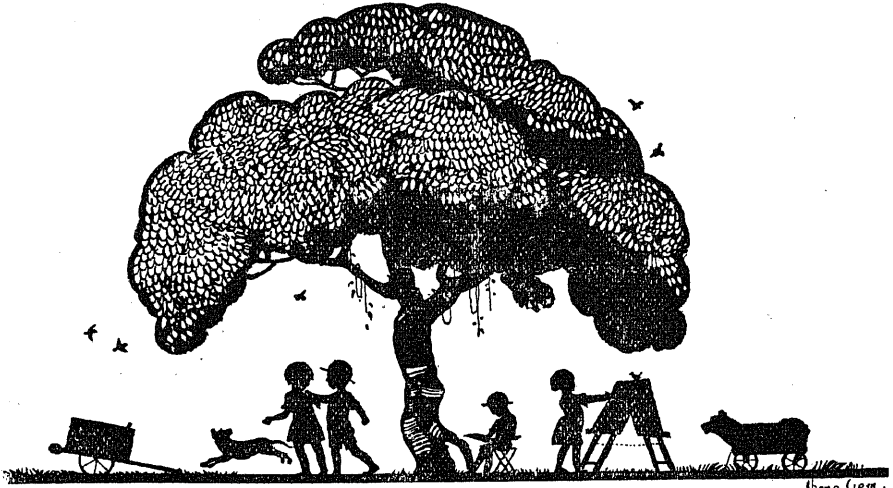
◇下田博士の自叙傳 五歳の時實父に死別し貧苦の間に母性愛に富める實母に薰陶され、爾來今日に至る赤裸々記。
 ◇信念を説く教師論 「教育の成果は教₂方法の問題でなく一に教₁へる其人の問題である」との信念より懇説指示さる。
 ◇新女子教育諸問題 下田博士は現代に於ける女子教育の權威にて最近の女子教育の重要問題を一々懇説し解決さる。
 ◇魂の教育の高潮 日本精神は教育者に宿る教育精神となり大和魂は教育化と教員魂とを本書は之が涵養を説く。
 ◇教育文藝の三優篇 名作家として又人間味豊かな教育家として定評の博士の頭腦を通じ身にかけた教育文藝三篇を紹介す。

二十版
 東京女高師教授 文學博士 下田次郎先生著
 定價金二圓五十錢 送料金十六錢
 人間味の教育
 ◇著者自身人間味豊かな定評の士にて其の力作
 ◇多年體驗の人間教育の記録集にて稀有の神品
 本書は著者の趣味性に由る教育觀の進りであり
 著者の人間味の表現である收むる所二十有餘の
 名篇。言々句句々肝銘の金文字。この意味に於て
 學校教師のみならず廣く子女を教育する人々の
 必須良書。

五版
 東京女高師教授 堀七藏先生著
 四六版三百余頁 定價二圓五十錢
 参考寫真數枚入 送料金十六錢
 我が兒の科學教育
 一・新科學教育の根本問題 科學教育高潮時代に
 忘れられたる然も根本的重要なる問題の解決
 には本書の天使命である。
 二・本家庭教育者の中心問題 家庭教育は疑げ
 問題等に止らず時代人として活躍し得る基を與
 へればならぬ。本書は之が指針書である。

東洋圖書株式會社

東京市神田區保町一丁目六十七番地
 振替 東京 一〇三 七番



Shone Gema

新涼の今期に

園外保育用品の御用意

弊社工場の特に入念に吟味製作せる堅牢にして體裁よき安
 全の品

携帶黑板——幼兒自身が適宜の所へ持ち運び自由な折疊式黑板。

一組 金十五圓

折疊椅子——鋼鐵骨に丈夫な布を張つた折たゞみ自在の椅子。

一脚 金一圓二十錢

折疊卓子——堅牢な蝶番で折疊み自由、長さ四尺幅二尺高さ一尺

一組 金七圓

トロツコ——車、心棒とも鐵製堅牢、子供に應用の途廣し。

一臺 金三圓

お伽車——折疊式構造の輕便な車、面白い動物の形をした愉快

一臺 金二十五圓

の、應用多端。

押車——幼兒が自由に押し歩く運搬車、これも様々に應用さ

一臺 金三圓五十錢

其他幼稚園・幼兒用各種運動具、最新の製作に係る新案新樣
 式の運動具多種。

館ルベール社會式株

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東 店本
 番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大 所張出

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
 公每月一回 十五日發行
 昭和九年九月十五日印刷納本
 昭和九年九月十五日發行

臨時定價金七拾錢